

はばだけ！ JTサンダーズ広島

竹田 英司

13、14日にわが故郷で開催された岩国大会。ご当地、山口県（宇部市）出身の西村信選手がVリーグデビューを飾り、次回のコラムに取り上げようと写真撮影をしていた最中、関野吉陽トレーナーに抱きかかえられて退場する井上航選手が見えた。

ロジャーズ海選手に歩み寄り「捻挫か」と聞くと、「いや、あの倒れ方はアキレス腱が切れていきますね」と言われ、私は軽いめまいを覚えた。



Vリーグデビューを果たし、花束を贈呈された西村選手
(13日)

◎ 航節 けがでもらしさ

フルセットの末に惜敗した後、チームバスに戻ると「頭触らせてよ、陳さん」と必死に手を伸ばす、いつもと変わらぬ航選手の姿があった。夕食時、「竹田さん、うどんをよそってください」と言われ、その日に限っては「航、自分でやれ」と言えなかった。

翌朝、ファンに安心してもらうため、チームバスを見送る航選手を撮影しようとしたが、「弱っている姿を見せることは僕の美学に反します」と拒絶された。試合が始まって第1セットが終わった瞬間、航選手からメッセージが届いた。「僕がいけないから陳さんに元気がないです。もっと笑顔でバレーを楽しめ、と言ってください」と伝言を頼まれた。

連敗後、合宿所に戻ると航選手が入り口に松葉づえで立っていた。「いつから待っていたのか」「30分くらい前からです」と会話を交わした後、「（坂下）純也、良かったよ」などと選手全員に声を掛け始めた。「西、ナイスブロック！」。出場機会のなかった西知恵選手に意地悪な発言をした瞬間、私の心の中の涙が止まった。

（JT広島マネジャー）